

愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター

Aichi Gakuin University Dental and Pharmaceutical Library and Information Center

〒464-8650 名古屋市千種区楠元町1-100 TEL052-751-2561(内線1606~1608) http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/



センター図書費で新刊図書を購入しました

歯学・薬学図書館情報センターの図書費で学生用の新刊図書約200冊を購入しました。新しく受入した図書は、センターホームページの「新着案内」で紹介し、「新着図書コーナー」に展示後、配架します。8月中に84冊が閲覧できるように整理されて書架に並びました。

学術雑誌の購読料高騰等に対処するために、近年は、センター図書費で積極的に学生用の図書を購入することは控えてきましたが、今年度からは、原則どおり、学術雑誌は、歯学部・薬学部の学部図書予算で購入していただくことにしました。そこで、センター図書費は、本来の用途のとおり、図書館員が選書し、センター長と検討して、学生用の図書を購入することにしました。今回は、4月以降発刊の自然科学、医学・歯学・薬学分野の新刊を選びました。臨床系の図書は末盛分室にも置きました。

平成18年8月の利用状況

(1)開館日数及び入館者数(昼間・9:00~16:45、夜間・16:45~19:00)

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	21	21	4,824	1,401	6,225
末盛分室	20	20	4,107	2,018	6,125
合計			8,931	3,419	12,350

学外利用者(登録なし) 楠元 4名 末盛分室 8名

(2)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	165	643	33	841

(3)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	80	439	16	535
「学生」のうち		歯学部学生 311	薬学部学生 5	

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数		件数	
学外受付	159	(49)	学外貸出	0 (0)
学外依頼	97	(0)	学外借受	0 (0)
合計	256	(49)	合計	0 (0)

※()内数字は大学図書館以外

8月の統計上の入館者は、左表のように12,350名で昨年の11,308名に対して、1,042名増加しました。帯出冊数は昨年に比べて167冊、帯出人数は60名の増加でした。

6月10日に楠元祭の協賛行事として実施した「ライブラリーサロン」での要望も受けて、8月21日の月曜日から夏期休暇中の17時45分閉館を通常の19時閉館に戻したことによる利用者の増加でしょうか。

8月は、相互貸借の受付が159件、依頼が91件でした。平成17年度1年間の受付は2,102件、依頼が1,692件で、平成16年度は受付が1,975件で依頼が2,111件でした。今年度は受付が依頼を上回る傾向にあります。

○ベストリーダー この1ヶ月間に4回以上貸し出された図書は以下の2冊でした。

5回 よくわかる歯科心身医学 荒尾宗孝/[ほか]著 わかば出版, 1997.10

4回 アンテナ 田口ランディ/著 幻冬舎, 2000.10

3回以上貸し出された本は、10冊ありましたが、概して出版年が古いようです。これは、私達図書館員の責任でしょうが、センターの図書費で、学生用の新しい図書を購入し、書架の充実を図りたいと思います。



インターンシップの学生を受入れました

今年度も本学のインターンシップの学生を受入れました。センターでインターンシップの学生を受入れるのは今年度で3年目です。全員が将来、図書館司書又は司書教諭を目指すという5名（写真左）で、8月7日から10日間の実務実習をし、千種図書館や名古屋大学・中京大学の図書館を見学しました。最終日には、パワーポイントを使って、インターンシップの目的とその成果をプレゼンテーションしてくれました（写真右）。

歯学・薬学図書館情報センターの雰囲気・印象は？

- ・静か、集中できる。
- ・ほとんどが医学系図書で驚いた。資料がそろっているから勉強しやすそう。
- ・一般の人が近づきづらい、入りにくい雰囲気。

気になったことは？

- ・書庫が、利用者があるのに温度調節されていない。
- ・本が取り出しにくい（高い所にある本が多い）。
- ・バリアフリーができていない（スロープ・エレベーターなど）。
- ・ビデオブースの壁の落書きが気になった。公共の施設の使い方をあらためて考えてほしい。

使いやすさは？

- ・497.2のように分類番号が細かく、また雑誌がアルファベット順に並んでいるので探しやすい。
- ・OPACで検索した後、図書の場所がどこを見れば分かるのか、なかなか気付けなかった。
- ・文庫本や新書がどういう順番に並んでいるのか分からなかった。
- ・日本の雑誌は、あいいうお順の方が、一般の人には分かりやすいだろうと思った。

あなたにとって魅力的な図書館とは？

- ・人間関係ができていてあたたかい図書館。図書を借りに来る人と仲良くなって、「今日は何かいいことありましたか？」みたいな、たわいないやりとりができる雰囲気の図書館。
- ・図書館を利用する人が、ほとんど学生や教職員で占められているので、子供連れの主婦や、身体にハンディキャップを持った人など、幅広い利用者層を受け入れられる、誰にでも利用しやすい図書館。
- ・本がたくさんあり、探しやすい図書館。ゆっくりと本を読めて調べることができる環境が有ると良い。
- ・静かで小説がたくさんおいてある図書館。一人用の机がある図書館。
- ・外部図書館の本が借りられる、もしくは欲しい部分を即座に見ることができる図書館。家に居ながら本の所蔵が確認でき、簡単な内容紹介を見ることができる図書館。

では、その「魅力的な図書館」と比較して、歯学・薬学図書館情報センターに欠けているものは何だと思いますか？

- ・小説などの医学書以外の本もあるとよい。
- ・一つ一つ、しきりがある机がもっと有ると良い。
- ・インターネットを利用しきれていない。ページのコピーを郵送するのなら、そのページの画像をメールで送受信できるようにすれば、利用の幅が広がると思う。
- ・せっかく学外者にも図書館を開放しているのだから、もっと一般の人が利用しやすいようにすべき。具体的にはもっとバリアフリーにする、託児所を設けるなどして近寄り難い雰囲気を緩和して欲しい。
- ・楠元図書館には、利用者とのちょっとした会話を楽しむゆとり、雰囲気が薄い。そういった会話ができるあたたかい雰囲気をもった図書館にしたい。